

マイク分岐装置 NCX-2

取り扱い説明書

このたびは、マイク分岐装置NCX-2 をご購入いただきまことにありがとうございます。

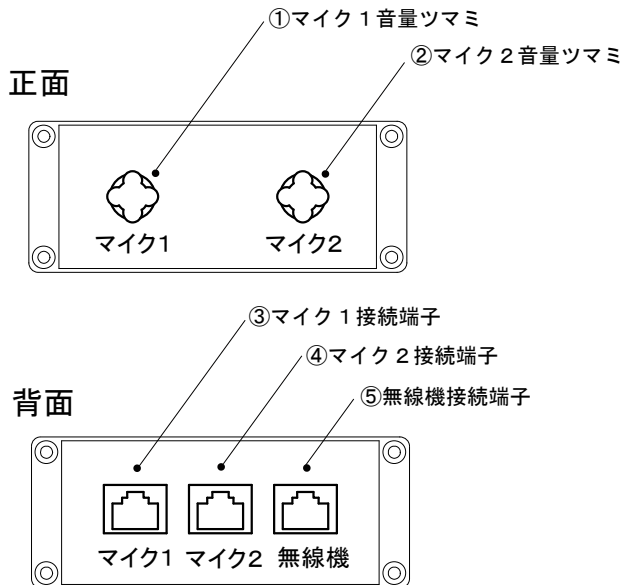
この製品はスタンダードの車載型業務用無線機GX5560用に開発された製品です。本製品を正しくお使いいただくために、この取り扱い説明書を必ずお読みください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

ご購入いただきました製品に、万が一不審な点、お気づきの点などがありましたら、なるべく早めにお買い上げいただきました販売店あるいは株式会社スタンダードの各営業所、サービスセンターへお申し付けください。

MADE IN JAPAN

八重洲無線株式会社

各部の名称とはたらき



①マイク1 音量ツマミ マイク1に接続したスピーカーマイク（またはスタンドマイク）のスピーカー音量を調節できます。左に回し切ると音がでなくなります。

②マイク2 音量ツマミ マイク2に接続したスピーカーマイク（またはスタンドマイク）のスピーカー音量を調節できます。左に回し切ると音がでなくなります。

③マイク1 接続端子 スピーカーマイクを接続します。スタンドマイクまたは延長したスピーカーマイクを接続する場合は規定のケーブル※を接続してください。

④マイク2 接続端子 スピーカーマイクを接続します。スタンドマイクまたは延長したスピーカーマイクを接続する場合は規定のケーブル※を接続してください。

⑤無線機接続端子 無線機を接続します。規定のケーブル※を接続してください。
※接続用ケーブルについては裏面を参照ください。

安全にお使いいただくために

警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 誤った使い方をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生される内容を示しています。

行ってはならない禁止事項です。

必ず守っていただきたい注意事項です。

警告

引火性ガスの発生する場所で使用しないでください。
発火事故の原因になります。

注意

分解や改造をしないでください。
発火事故、ケガ、故障の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で使用しないでください。
発火事故、破裂、故障の原因になります。

水のかかる場所で使用しないでください。
故障や感電の原因になります。

接続されたケーブルが傷んだら、使用しないでください。
発火事故や感電、故障の原因になります。

指定以外の無線機やマイク・ケーブルを接続しないでください。
故障や動作不良の原因になります。

指定以上の長さのケーブルを接続しないでください。
故障や動作不良の原因になります。

音量を上げ過ぎないように音量ツマミの位置を確認してください。
聴力障害や周囲への騒音の原因となります。

対応機種

2008年9月現在

本製品は、スタンダード製の以下の無線機とスピーカーマイク・スタンドマイクに接続してご使用いただけます。下記以外の無線機、また下記以外のスピーカーマイク・スタンドマイクに接続されても動作の保証はできませんので、ご了承ください。

●対応無線機	GX5560シリーズ
●対応スピーカーマイク	CMP5560 ※GX5560標準付属マイク
●対応スタンドマイク	CSM5560

定格

●外寸	幅100×高さ40×奥行き80mm(突起物含まず)
●重量	160g
・付属品	取扱説明書(本紙)

マイク分岐装置 NCX-2

【対象機種】

- 車載型業務用無線機 GX5560シリーズ

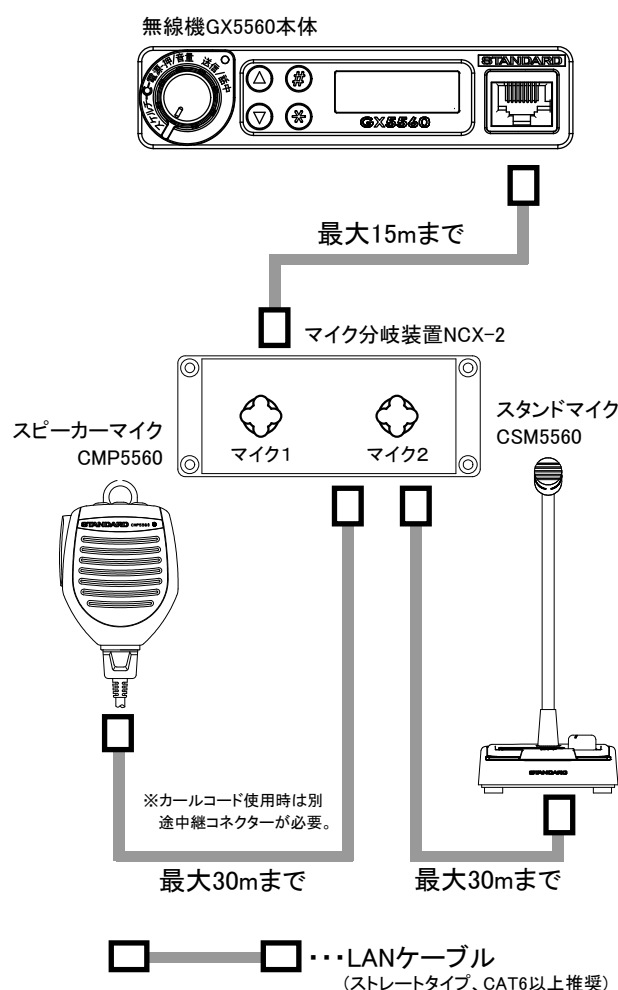
【接続可能マイク】

- スピーカーマイクCMP5560(GX5560付属品)
- スタンドマイクCSM5560
- ※多機能マイクCMP888はご使用できません。

【動作概要】

- 1、この装置を上記対象無線機に接続し、上記接続可能マイクを接続することで1台の無線機を2個のスピーカマイク(またはスタンドマイク)より通信することが可能です。
- 2、マイク1とマイク2それぞれにスイッチ付音量ツマミがあり、各スピーカマイク(またはスタンドマイク)の音量を個別に調整することが可能です。
- 3、スピーカマイク(またはスタンドマイク)の音量アップダウンキーおよびモニターキーも動作可能です。
- 4、マイク1で送信中の通話内容をマイク2でモニター、またはマイク2で送信中の通話内容をマイク1でモニターする、インターホンのような通信が可能です。この機能はON/OFFすることが可能です。該当するスピーカマイクのモニターボタンと送信ボタン(PTT)を同時に押しながら無線機の電源を入り切りすることで機能の設定・解除ができます。
- 5、無線機と本装置、本装置とマイクスピーカー(またはスタンドマイク)間はLANケーブル(ストレートタイプ、CAT6以上推奨)にて、無線機とマイク分岐装置間を最大15m、マイク分岐装置と各マイク間を最大30mまで延長することが可能です(右図参照)。

接続概要図(例)



【ご注意】

- 1、無線機の電源を入れたときのピープ音は当装置の仕組み上、各スピーカマイク(またはスタンドマイク)のスピーカからは出力されません。
- 2、当装置は無線機の電源を入れたときに、接続されたマイクを認識いたします。そのため、電源を入れたままでケーブルを抜き差しすると誤動作する場合がございます。そのような場合は、無線機の電源を一度切り、ケーブルの接続状況を確認してから再度無線機の電源を入れてください。
- 3、上記の使用可能ケーブル長はご使用になるケーブルや設置環境によって変わることがあります。無線機の電源を入り切りしても誤動作をする、またはノイズが入る場合はケーブルの取り回しを見直す、または短いケーブルに変更してみてください。